

## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月開催
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当金 毎年3月31日  
中間配当金 毎年9月30日  
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

- 単元株式数 100株

### 【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主さまは、下記の電話照会先にご連絡ください。

- 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
- (郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
- (電話照会先) ☎0120-176-417
- (ホームページURL) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>
- 上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部  
大阪証券取引所市場第一部
- 公告方法 電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載して行います。  
公告掲載URL  
<<http://www.ichinenhd.co.jp/>>

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていた株主さまには、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

## 日経IRフェア2011 STOCKWORLD

開催日 **2011年8月26日(金)  
~27日(土)**  
時間 **9:30~17:30**  
会場 東京ビッグサイト 東4ホール  
(東京都江東区有明3-10-1)  
主催 日本経済新聞社  
入場料 無料

### 【お問合せ】

株式会社 **イチネンホールディングス**  
社長室  
TEL 06-6309-7890


## 株主の皆さまの声を聞かせください

当社では、株主の皆さまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。


下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード **9619**

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、「いいかぶ」と4文字入れて検索してください。

   
kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

 ※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアの詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)  
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

## IR REPORT

## 第49期 年次報告書

2010年4月1日から2011年3月31日まで

東証・大証1部コード:9619

## ICHINEN HOLDINGS For comfortable First Life

人と社会に、ここちよい安全・安心とやさしい環境を創る

イチネンの「1=First」は。

新しい時代の先進(一番に・初めて)を拓くFirstであり、

いつも最高級のサービスや製品をお届けするFirstです。

人と社会に、ここちよい安全・安心とやさしい環境を。

今までも。そして、これからも。



## 株式会社 イチネンホールディングス

〈東証・大証1部コード:9619〉

〒532-8567 大阪市淀川区西中島四丁目10番6号

TEL. 06-6309-1800 (代表)

株式会社 イチネンホールディングス

## 株主の皆さまへ



代表取締役社長 黒田 雅史

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

第49期における事業のご報告に先立ち、東日本大震災でお亡くなりになりました多くの方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災されました方々が一日も早く日常の生活を取り戻されますようお願いしております。

さて、第49期の業績ですが、過去3期連続で対前期比減収となっていた売上が、ようやく増収に転じました。利益面につきましては、営業利益は過去最高益の更新、経常利益につきましても過去最高益となりました。しかしながら、当期純利益におきましては、パーキング用地建物の減損処理に伴う特別損失の計上、並

びに繰延税金資産の一部を取崩したことにより減益となりました。

当期は創業80周年という大きな節目を迎えました。当社グループでは「第2創成期」と位置づけ、新しい中期経営計画もスタートいたしました。第1年目の成果としては、カーシェアリング事業の立ち上げがあり、時代のニーズに沿う事業として着実に成長してほしいと期待しております。当社グループにとって新規事業への取り組みは最重要課題であり、今後もどんどん新しい試みにチャレンジしてまいります。株主さまにおかれましては、一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## Interview with the President

# 新規事業への参入を積極的に行い グループ全体が一丸となって拡大を図ります。

**Q** 「第2創成期」に入ったと位置付けられるなか今後の事業展開をお聞かせください。

**A** リース事業・自動車メンテナンス受託事業に関しては、今後、自動車そのものがハイブリッドタイプ、EVタイプ（電気自動車）に変わっていきます。その変化への対応が、当面の課題となっております。現在、リース事業の約8割がメンテナンスリース契約をしていますが、ハイブリッドカーをメンテナンスする場合、契約しているメンテナンス工場がディーラーへ依頼し、そしてメーカーで整備・点検・修理を行っているのが実情です。しかしながらハイブリッドカー・電気自動車のメンテナンスに必要な技術が徐々に普及されつつありますので、需要の増加にともない、各メンテナンス工場でも可能になってくると思います。当社もできる限り早い段階で対応力を身に付けたいと考えております。その段階で、リース事業でも積極的にハイブリッドカー・電気自動車を取り扱い、顧客への提案を実施していく計画です。また、現時点も含めた中期的な営業戦略としては、利益確保に重点をおいた施策を推し進めています。低価格重視の大手企業よりも中堅・中小規模の企業に力点を置き、地域ごとに設けた営業本部を核に、キメの細かいサービスで差別化を図り、リース契約・メンテナンス受託契約の獲得を目指してまいります。

現在約18万枚の燃料カードを展開している燃料販売事業の今後の方針は、採算重視にしております。当事業年

度では利用頻度による顧客の見直しを行いましたが、安定した収益確保のためガソリンの仕入れ価格の見直しも必要性があると感じています。

ケミカル事業は、中長期的には海外市場に注目しております。中国をはじめASEAN諸国を中心に、鉄鋼メーカー、発電所等のインフラ施設等をメインターゲットに石炭添加



代表取締役社長  
Masashi Kuroda  
黒田 雅史

剤・燃料添加剤の販売を推進しています。現在、商社を通じて、また、プラントメーカーと提携して事業を展開していますが、将来的には海外拠点を設け、事業拡大を図るとともに、ケミカル事業における生産部門を海外におくことも検討しなければと考えております。

パーキング事業については、売上高100億円の達成を目指し、拡大路線を展開します。戦略的には、これまでに以上に官公庁、病院施設、商業施設等へのアプローチを積極的に進め、運営・管理のほか駐車場のリニューアルも含めた提案型の営業で差別化を図ってまいります。

**Q 新規事業の今後の展開についてはいかがでしょうか。**

**A** 車体修理管理サービス事業（板金）は、中期的に売上高20億円の達成を目指しております。また、事業を開始したばかりのカーシェアリング事業は、1年目は100カ所200台を目標にし、毎年同じペースで推進し3年間で単年度黒字にする計画です。

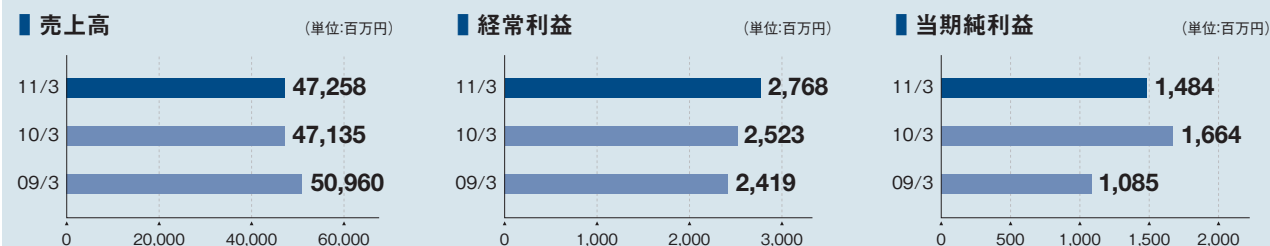
今後の新規事業については、M&Aや業務提携などもある程度、想定しながら推し進めてまいります。可能であれば自動車関連以外の領域へもチャレンジしていきたいと

思います。

**Q 第50期（2012年3月期）について、どのような見通しを立てておられますか。**

**A** 経営テーマとしては「グループ経営」「増販・拡大」「低コスト経営」を掲げております。リース事業・自動車メンテナンス受託事業は、順調に契約台数を伸ばせる見込みです。燃料販売事業については、大口取引先様との契約改善により、堅調な伸びが期待できます。ケミカル事業は、引き続き海外市場への拡販を目指してまいります。又、携帯電話防水加工においてスマートフォンタイプへの応用が可能になりましたので着実な伸びが期待できます。パーキング事業は、更なる規模の拡大をはかります。新規事業のカーシェアリング事業については、早期の軌道のせを目指します。以上のような見通しで、第50期の数値目標は、売上高490億円、営業利益32億円、純利益13億円（繰延税金資産の取崩を計画に見込んでいるため純利益は減益計画）においております。

財務ハイライト



**Topics 1**  
**新しい事業の柱を目指すべく  
カーシェアリング事業に参入**

当社グループは新規事業として、カーシェアリング事業に参入いたしました。2011年1月に子会社・株式会社イチネンカーシェアリングを設立し、5月9日より営業をスタートさせております。

カーシェアリングとは、短時間・短距離を前提に、1台の自動車を特定のメンバーが共同利用する仕組みです。運転の際には利用料金が発生しますが、イチネンカーシェアリングでは主に15分単位で設定しており、無駄の少なさも特徴となっています。所有にともなう車両購入費や維持費等の負担を考えると、コストパフォーマンスに長けているといえます。加えて一般的な試算によると、自動車の利用が年間走行距離1万km以下の場合であれば、カーシェアリングのほうがトクという結果も出ています。また、本当に必要なときにだけ運転を行う習慣が付き、省エネ効果も期待できます。普及すればするほど一般家庭や法人における保有台数の減少が予想され



るなど、環境保全のニーズに沿った新しい自動車の利用形態です。ほか、メリットとしては、IT技術を駆使することで予約から貸し出し・返却、代金決済までスムーズに行え、複雑な手続きが不要となります。このような時代性に富むカーシェアリング事業を推進するにあたり、様々な導入提案を行っています。

- ① 社用車のコスト削減
- ② 集合住宅の付加価値アップ
- ③ 学校の駐車場や近隣駐車場をステーションとし、大学生・専門学校生をターゲットにした展開
- ④ 公共施設や商業施設をステーションとする地域に根ざした展開
- ⑤ 稼働率の低い時間貸し駐車場をステーションにすることで収益向上



日本におけるカーシェアリングの市場は、普及が進んでいるヨーロッパの市場に比べると、まだまだ誕生したばかりのレベルで、これから本格的に普及が始まり、市場が形成されていく段階です。「カーシェアリングワン(Carsharing 1)」をブランド名とし、地域密着型を基本とした事業展開で、当社グループの次なる新しい事業の柱を目指し成長を図ってまいります。

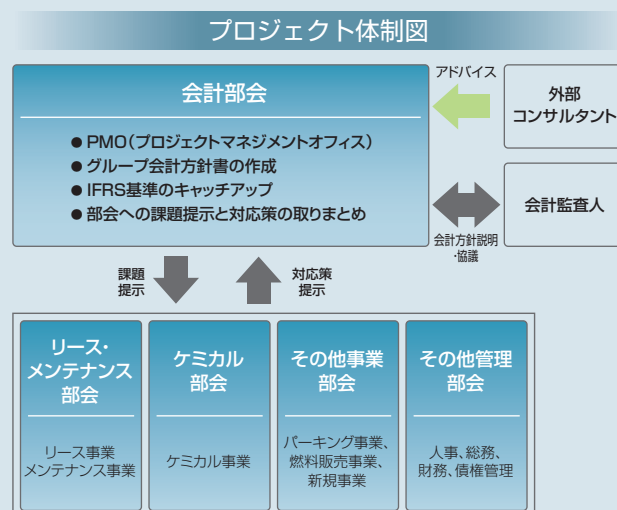
## Topics 2

## 2014年3月期の移行へ向け IFRS<国際会計基準>プロジェクトを発足

現在、当社グループでは国際財務報告基準(以下、IFRS)の適用に対応するための準備作業を進めております。IFRSとはロンドンに本拠を置く国際会計基準審議会(IASB)が作成している会計基準であり、経済のグローバル化を背景にこれまで世界各国が個別に作成していた会計基準を統一していることとする機運が強まってきたことに対応して作成されたものです。2005年からEU域内の上場企業に強制適用されたことを契機として急速に普及し、現在、主要国の中ではアメリカ及び日本を除くほとんどすべての国々が採用または採用を決定している状況にあります。日本は2012年にIFRSを採用するかどうかの判断を行うとし、採用する場合の適用時期は2015年か2016年とすると表明しています。

当社グループでは、2010年4月から12月にかけて株式会社イチネンホールディングスの経理財務部が中心となり、トーマツコンサルティング及び有限責任監査法人トーマツの協力をいただき、IFRSが適用された場合の影響度調査を行い、課題の整理を進めてきました。そして今後、グループ各社の

事業に関わる課題についての確認や業務プロセス・情報システムの見直しを行っていく必要があるため、グループ全社プロジェクトとして「IFRSプロジェクト」を発足させました。



(注) 各部会の役割  
 会計部会……プロジェクト管理、日程調整、会計方針の作成、監査人との協議、各部会への参加、議事録作成  
 その他の部会……対応策検討、調査実施、議事録作成

## Topics 3

## 東日本大震災で被災された方々に グループとして義援金による支援を実施

2011年3月11日に発生しました東日本大震災は、未曾有の被害をもたらしました。当社グループにおきましても、被災された方々への支援と被災地の復興に役立てていただくた

め、日本経済新聞社を通し、日本赤十字社に義援金として500万円をお贈りいたしました。

## Topics 4

## イチネングループの社有車に電気自動車を採用いたしました

当社グループでは、2011年1月、大阪本社に電気自動車「光岡Like(ライク)」を社有車として購入いたしました。電気自動車の採用につきましては、環境への配慮はもちろんのこと、自動車関連事業を展開している当社グループが、まずは自ら体感し、特徴を把握した上で、お取引先さまへのデモにも使用していきます。また、リース事業・自動車メンテナンス受託事業

におきまして、すでに約300台の電気自動車を契約いただいております。さらなるサービスの向上を図るため、社有車の電気自動車を有効活用いたします。



## Topics 5

## 新商品 発売25周年を記念し「ビッグノータッチUV」を発売

タイヤに吹きつけるだけで、汚れを落とし、ツヤを与え、紫外線などからタイヤを守り、しかも手を汚さないタイヤワックス——「ノータッチUV」が発売開始から今年で25周年を迎えます。昭和61(1986)年に「ノータッチUV」を発売して以来、「ノータッチエクセレント」、「ノータッチミント」、「ノータッチツヤ耐久」、「ノータッチLL」と種類を増やしてきました。そして今回、

25周年の記念の年に新商品として「ビッグノータッチUV」を発売いたします。25年前の自動車に比べると現在はタイヤも大型化しているため、150ml増量し、ユーザーの満足度を高めました。全国のカー用品店、ホームセンターで、4月から発売を予定しております。



## IRカレンダー

## 年間スケジュール

2011

定時株主総会

日経IRフェア  
参加予定第2四半期決算発表予定  
会社説明会予定

2012

4月 ● 5月 ● 6月 ●

7月 ● 8月 ● 9月 ●

10月 ● 11月 ● 12月 ●

1月 ● 2月 ● 3月 ●

決算発表  
決算説明会第1四半期決算発表予定  
会社説明会予定会社説明会  
予定  
決算説明会予定会社説明会  
予定  
第3四半期決算発表予定

## リース事業



売上構成比  
48%

リース事業におきましては、中小規模の企業のみならず大手企業を含むあらゆる車両需要先企業をターゲットに投資効率を重視したリース契約の増加に努めるとともに、リース契約満了時における契約継続に注力いたしました。また、2010年7月1日付で、約3,000台を保有するオートリース会社の全株式を取得して子会社化いたしました。

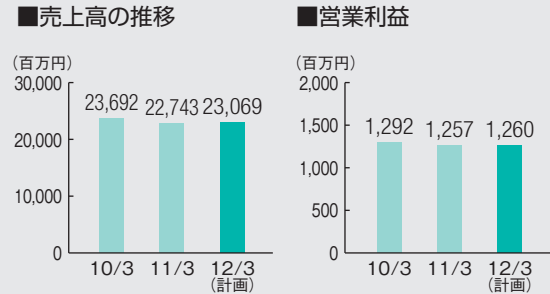
この結果、2011年3月末現在リース契約台数は56,062台(対前期末比5,027台増)となりました。また、依然として、リース契約車両は小型化傾向にありますが、契約台数が順調に伸長した結果、リース契約高は214億77百万円(対前期比29.5%増)、リース未経過契約残高は436億88百万円(対前期末比8.1%増)となりました。

また、カーシェアリング事業におきましては、2011年1月に新会社を設立し、同年5月より営業を開始しております。

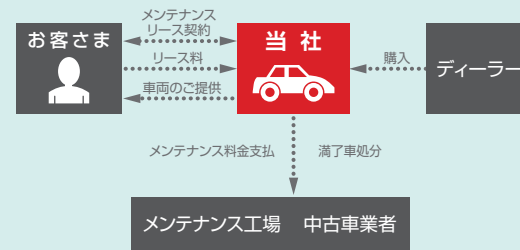
損益面では、低年式・走行過多車両の入替えを促進し、メンテナンスコストの削減に注力、採算販売の徹底により粗利益率の改善に取り組んでまいりました。また、リース契約終了後の車両処分については、引き続き円高の影響を受けましたが、販売単価は順調に回復しております。しかしながら、リース契約車両の小型化、並びに再リース率上昇の影響は大きく、この結果、売上高は227億43百万円(対前期比4.0%減)、セグメント利益は12億57百万円(対前期比2.7%減)となりました。

### 事業紹介

自動車保有による負担を軽減するオートリースを行っています。リース事業は自動車整備工場を経営する過程で誕生しましたので、高品質なメンテナンスリースに自信があります。顧客のニーズや環境保全の視点を取り入れ、幅広いサービスを提供しています。



### メンテナンスリースの流れ



## ケミカル事業



売上構成比  
24%

ケミカル事業におきましては、工業薬品関連では、燃料添加剤の販売数量が対前期比で微増となりました。また、船舶用燃料添加剤については、引き続き順調に推移しました。

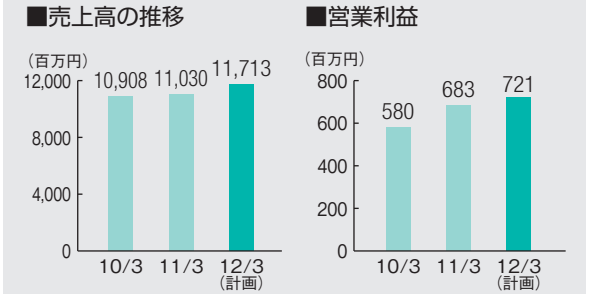
一方、化学品関連では、機械工具商向け化学品等の需要が回復し、着実な伸びを示しましたが、防水型携帯電話部品関連では、スマートフォンへの移行により、従来型機種を受注台数が第4四半期において大幅に減少しました。

この結果、売上高は110億30百万円(対前期比1.1%増)、セグメント利益は6億83百万円(対前期比17.9%増)となりました。

| 取引内容       | 国名      |
|------------|---------|
| 取引実績あり     | エジプト    |
|            | サウジアラビア |
|            | シンガポール  |
|            | インドネシア  |
|            | タイ      |
|            | チリ      |
|            | 韓国      |
|            | 台湾      |
|            | 中国      |
|            | ASEAN   |
| 今後の拡販ターゲット | 中国      |
| ASEAN      |         |
| 中期的ターゲット   | インド     |

### 事業紹介

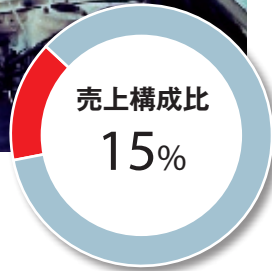
産業機械や自動車のメンテナンスに欠かせないケミカル製品を多彩にラインナップしています。また、各種ボイラーやディーゼルエンジンの省エネに貢献する添加剤など、さまざまなテクノケミカル製品もご提供しています。



### 世界市場での石炭燃料添加剤等の増加

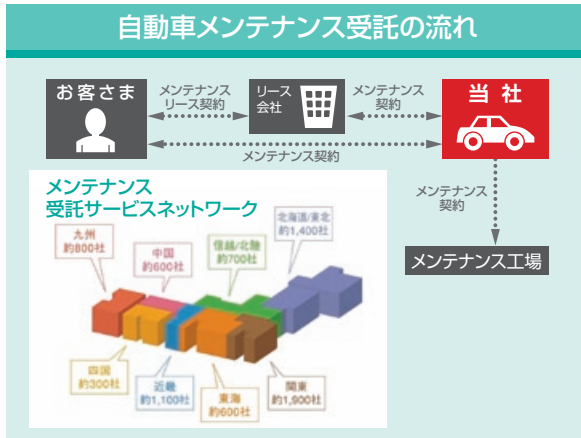
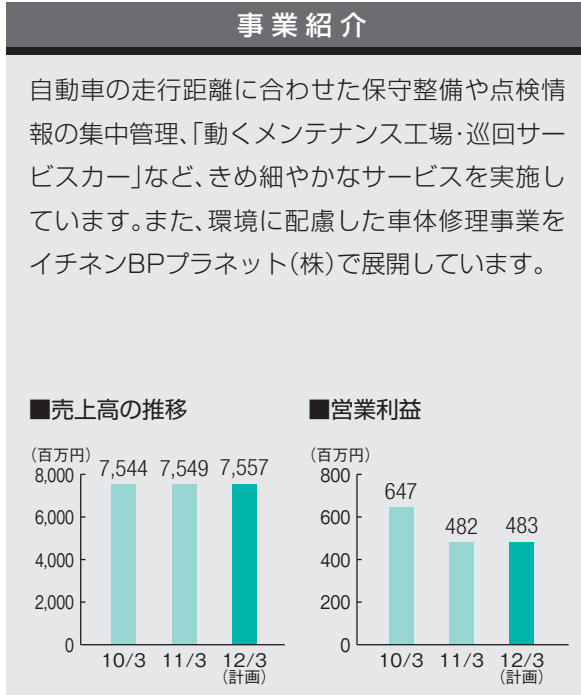


## 自動車メンテナンス受託事業

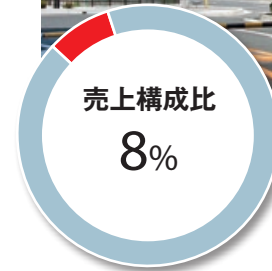


自動車メンテナンス受託事業におきましては、当社独自の強みである高点検率、営業品質を追求しながら、契約台数、契約残高の増加に努めてまいりました。また、メンテナンスコストの増加要因となる低年式・走行過多車両の入替えを促進しメンテナンスコストの抑制に注力し、不採算契約の改善並びに走行距離に応じた料金設定を行い収益向上に努めてまいりました。この結果、メンテナンス受託契約高は46億97百万円(対前期比27.9%増)、メンテナンス未経過契約残高は62億57百万円(対前期末比6.2%増)となりました。

損益面では、引き続き徹底した不採算取引の改善を行いました。前期の大口契約の解約等が影響し、売上高は75億49百万円(対前期比0.1%増)、セグメント利益は4億82百万円(対前期比25.5%減)となりました。



## パーキング事業

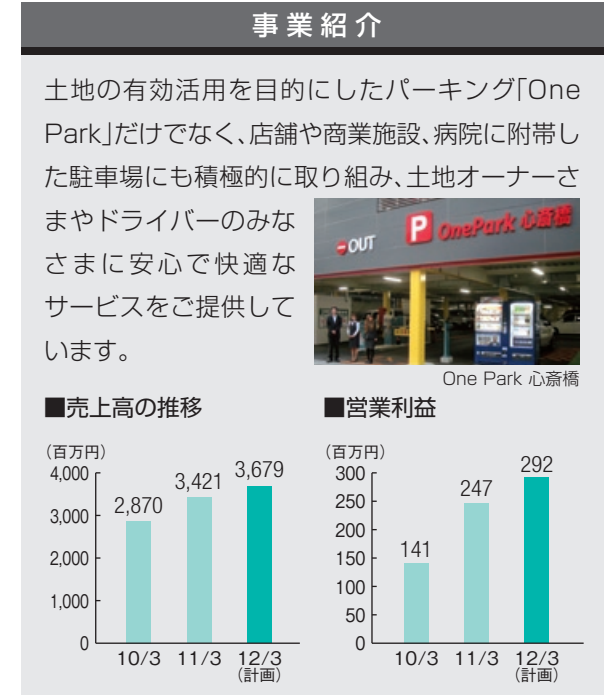


パーキング事業におきましては、中長期的に安定した収益基盤を築くため、更なる駐車場数の拡大と引き続き不採算駐車場の採算改善を行い駐車場個々の収益向上に努めてまいりました。また、商業施設、病院等に付帯した駐車場にも積極的に取り組んでまいりました。

この結果、2011年3月末現在駐車場管理件数は579件(対前期末比8件増)、管理台数は14,257台(対前期末比70台増)となりました。

損益面では、既存駐車場の収益改善策として、周辺店舗への駐車チケットの販売、月極契約の募集や駐車料金の見直し等、売上拡大策を講じるとともに、土地賃借料の引下げ交渉によりコストの低減を図ってまいりました。なお、東日本大震災による首都圏での計画停電の影響も受けましたが、2010年1月に同業他社より譲り受けた駐車場が加わったことにより、売上高は伸びました。

この結果、売上高は34億21百万円(対前期比19.2%増)、セグメント利益はパーキング運営の営業権の償却が平成21年9月末で終了したことにより、2億47百万円(対前期比75.5%増)となりました。



## 燃料販売事業



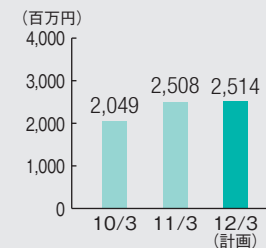
燃料販売事業におきましては、主力である自動車用燃料給油カードは、付加価値の高いサービスを顧客に提供し他社との差別化を図ることにより新規顧客獲得、並びに販売数量の拡大に注力いたしました。この結果、販売数量は前期比13.8%増となりました。

損益面では、販売価格の調整が適時・適切に実施できたことと、大口取引先との取引内容を大幅に改善することができたことにより、売上高は25億8百万円(対前期比22.4%増)、セグメント利益は3億23百万円(前期は1億52百万円の営業利益)となりました。

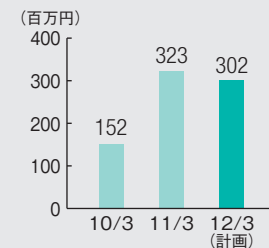
### 事業紹介

全国各サービスステーションで給油できる「エクソンモービル・コーポレートカード」を販売。イチネンならではのスケールメリットで全国統一価格を実現し、燃料代削減に貢献します。また、燃料代の一括管理により経理事務合理化もサポートします。

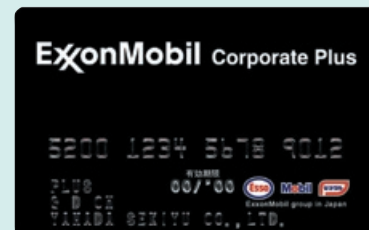
#### ■売上高の推移



#### ■営業利益



### 燃料販売の流れ



### ■ 連結貸借対照表のポイント

(単位:百万円)

|                   | 当期<br>2011年3月31日現在 | 前期<br>2010年3月31日現在 |
|-------------------|--------------------|--------------------|
| <b>【資産の部】</b>     |                    |                    |
| 流動資産              | 32,582             | 30,272             |
| 固定資産              | 44,905             | 42,924             |
| 有形固定資産            | 34,112             | 31,323             |
| 無形固定資産            | 5,745              | 6,227              |
| 投資その他の資産          | 5,047              | 5,374              |
| 繰延資産              | 57                 | 68                 |
| 資産合計              | 77,544             | 73,266             |
| <b>【負債・純資産の部】</b> |                    |                    |
| 流動負債              | 27,457             | 24,051             |
| 固定負債              | 34,193             | 34,197             |
| 負債合計              | 61,650             | 58,249             |
| 株主資本              | 15,928             | 14,997             |
| その他の包括利益累計額       | △43                | 10                 |
| 新株予約権             | 8                  | 8                  |
| 純資産合計             | 15,894             | 15,016             |
| 負債純資産合計           | 77,544             | 73,266             |

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### ■ 連結損益計算書のポイント

(単位:百万円)

|            | 当期<br>2010年4月1日から<br>2011年3月31日まで | 前期<br>2009年4月1日から<br>2010年3月31日まで |
|------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 売上高        | 47,258                            | 47,135                            |
| 売上原価       | 35,466                            | 35,596                            |
| 売上総利益      | 11,792                            | 11,539                            |
| 販売費及び一般管理費 | 8,643                             | 8,596                             |
| 営業利益       | 3,148                             | 2,943                             |
| 経常利益       | 2,768                             | 2,523                             |
| 当期純利益      | 1,484                             | 1,664                             |

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### POINT ① 貸借対照表

連結子会社取得に伴うリース投資資産の増加、並びに、オペレーティングリース取引の契約増加に伴う「賃貸資産」の増加、その他により、総資産が増加いたしました。

自己資本比率は、20.5%となりました。

### POINT ② 損益計算書

売上高は、4期ぶりの増収となりました。営業利益については、過去最高益の更新、経常利益についても過去最高益となりました。

特別損失にてパーキング自社物件の減損、及び繰延税金資産の一部取崩しによる法人税等調整額を計上したことで、当期純利益は、減益となりました。

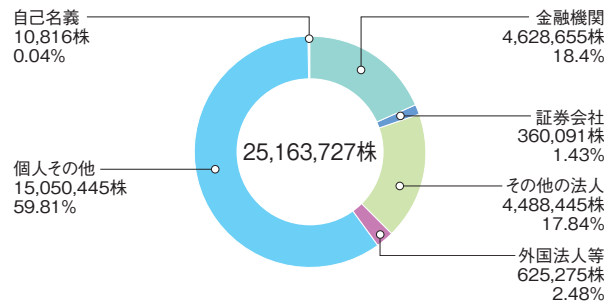
■ 株式の総数 (2011年3月31日現在)

発行可能株式総数 80,000,000株  
 発行済株式の総数 25,163,727株  
 株主数 10,640名  
 大株主

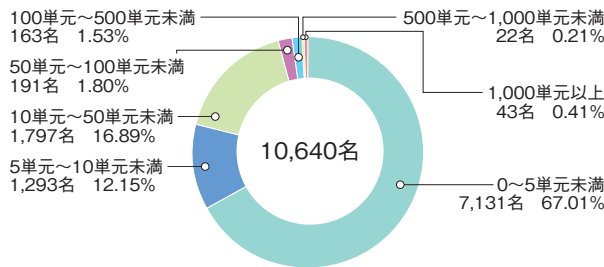
| 株主名                            | 持株数 (千株) | 持株比率 (%) |
|--------------------------------|----------|----------|
| 第一燃料株式会社                       | 2,350    | 9.34     |
| 住友信託銀行株式会社                     | 820      | 3.26     |
| 黒田 雅 史                         | 819      | 3.26     |
| 黒田 和 伸                         | 654      | 2.60     |
| 黒田 勝 彦                         | 609      | 2.42     |
| 日本トラスティ・サービス<br>信託銀行株式会社 (信託口) | 516      | 2.05     |
| 日本マスタートラスト<br>信託銀行株式会社 (信託口)   | 515      | 2.05     |
| 黒田 恭 年                         | 486      | 1.93     |
| 黒田 倅 稔                         | 472      | 1.88     |
| 日本生命保険相互会社                     | 454      | 1.81     |

(注) 持株比率は自己株式(10,816株)を控除して計算しております。

■ 所有者別株式分布



■ 所有単位数別株主分布



■ 会社概要 (2011年3月31日現在)

商 号 株式会社イチネンホールディングス  
 (ICHINEN HOLDINGS CO.,LTD.)  
 U R L http://www.ichinenhd.co.jp/  
 本店所在地 大阪市淀川区西中島四丁目10番6号  
 創 業 1930年(昭和5年)6月1日  
 会 社 設 立 1963年(昭和38年)5月7日  
 資 本 金 2,529,135,586円  
 従 業 員 数 連結 591名 単体 59名

■ 取締役及び監査役 (2011年6月17日現在)

代表取締役社長 黒田 雅 史  
 取締役副社長 黒田 勝 彦  
 取締役専務執行役員 三村 一 雄  
 取締役 影山 忠 広  
 取締役 木村 平 八  
 常勤監査役 奥田 弘 純  
 常勤監査役 川上 伸 雄  
 監査役 岸野 信 司  
 監査役 中室 修 司

■ グループ会社 (2011年6月17日現在)

株式会社イチネン  
 株式会社タイホーコーザイ  
 野村オートリース株式会社  
 アルファオートリース株式会社  
 株式会社イチネンパーキング  
 イチネンBPプラネット株式会社  
 株式会社イチネンカーシェアリング  
 株式会社セレクト

株主優待情報

割当基準日/3月末日における持株数に対して  
 右記の内容のおこめ券を進呈いたします。



| 持株数                | 内容            |
|--------------------|---------------|
| 100株以上<br>500株未満   | 全国共通おこめ券 2kg  |
| 500株以上<br>2,000株未満 | 全国共通おこめ券 5kg  |
| 2,000株以上           | 全国共通おこめ券 10kg |

ホームページのご案内

当社のホームページで最新情報を発信しております。  
 ぜひ併せてご覧ください。

<http://www.ichinenhd.co.jp/>

イチネンホールディングス

TOPページ



IRサイトの一部



中期経営計画

財務情報